

平成29年度第2回石狩市浜益区地域協議会議事録

日 時：平成29年5月23日（火）18：30～19：10

場 所：浜益支所庁議室

資 料：会議次第

「豊かな高齢社会を生きる地域づくりキックオフフォーラム」

資料1

＝会議次第＝

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 協議事項
 - 1) 地域おこし協力隊制度の導入について
4. 報告事項
 - 1) 「豊かな高齢社会を生きる地域づくりキックオフフォーラム」の開催について
5. その他
6. 次回開催日程について
7. 閉 会

出席者：22人（委員13名、職員9名）傍聴人：2名

委 員			職 員	
役 職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会 長	赤間 聖司	○	(支所) 支所長	松田 裕
副会長	大久保満彦	○	(支所) 地域振興課長兼都市整備課浜益支所担当課長	木村 新吾
委 員	寺山 広司		(支所) 地域振興課観光担当課長	成田 和幸
委 員	久慈 貞子	○	(支所) 市民福祉担当課長併任浜益生涯学習課長	笹 富雄
委 員	徳地 克実	○	(支所) 保健福祉担当課長兼はまます保育園長 兼浜益国保診療所庶務課長	若狭 康晴
委 員	小田 則貞	○	(支所) 地域振興課地域振興担当主査兼産業振興担当主査	藤巻 誠一
委 員	安保美佐子	○	(支所) 地域振興課産業振興担当主査兼地域振興担当主査	柿崎 恵一
委 員	三上 正信	○	(支所) 地域振興課地域振興担当主任兼産業振興担当主任	須田 恒
委 員	白井かの子	○	(支所) 地域振興課産業振興担当主任兼地域振興担当主任	渡辺 善仁
委 員	羽立 裕子	○		
委 員	岸本 紀子			
委 員	小笠原輝幸	○		
委 員	山本 侑香	○		
委 員	石川 宗	○		
委 員	辻 カヨ子	○		

1 開 会

【藤巻主査】

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

只今より平成29年度第2回浜益区地域協議会を開催いたします。開会にあたりまして赤間会長よりご挨拶をお願いいたします。

2 会長あいさつ

【赤間会長】

委員の皆様には、なにかとお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

本日は、「地域おこし協力隊制度の導入について」が議題となっております。この制度導入につきましては平成28年度の協議会で検討、協議をし、9月改選第4回協議会で平成29年度当初の制度導入を見送ることといたしました。この制度自体が今後とも継続されますことから、この制度を利用したい場合は随時、地域協議会で協議することになっておりました。今回、観光分野でこの制度を利用したい意向がありますことから、この場で協議を進めてまいりますので、各委員の忌憚のないご意見を願いたいしまして、あいさつに代えさせていただきます。

【藤巻主査】

ありがとうございました。

それでは、これからの議事進行については、会長に議長をお願いいたします。

3 協議事項

【赤間会長】

はじめに協議事項1) 地域おこし協力隊制度導入について、事務局から説明をお願いします。

【藤巻主査】

石狩観光協会選出の三上委員より協力隊制度導入について、提案したい旨の申し出がありましたので、発言をお願いいたします。

【三上委員】

私から地域おこし協力隊制度の導入について、提案理由を説明させていただきたいと思います。

委員皆様もご承知のとおり、地域おこし協力隊制度につきましては、総務省の特別交付税により財源が措置されております。過疎地域等への思い入れのある方が、一定期間地域に居住しながら、移住・定着を図る取り組みでございます。本件につきましては、協議会におきまして、昨年度3回にわたり審議されております。当観光協会をはじめ各団体からの意見集約の結果、平成29年度は導入を見送るとの結論が出されたものです。

その後、これまでに観光協会内部で再三にわたり検討し、また支所の方とも協議を重ねてまいりました。浜益区でもふるさと祭り、朝市、港まつりなどのイベントのほか、海水浴、キャンプ、それから御神木千本ナラの木と、サケ釣穫調査、黄金山登山、さくらんぼ狩りなどの観光スポットが多数あります。

今後における浜益区の観光振興を充実するためには、これらの観光スポットのPR等を積極的に行いながら、且つ周遊促進を図る必要があるとの判断から、平成30年4月より地域おこし協力隊1名を、導入すべきとの結論に至った次第でございます。

これらの趣旨をご理解いただき、ご審議のほどをよろしくお願い申し上げます。

【赤間会長】

只今、三上委員より地域おこし協力隊制度の導入について提案がございました。この件についてご質問、ご意見、ご要望等が御座いましたら、お受けいたしますので挙手をお願いいたします。

【大久保委員】

協力隊に関して、観光だけに限定されるのですか。

【三上委員】

いままでどちらかというと観光スポットが点の存在だったのですが、これからは点から線へと発展させていければ良いと思います。そのためにも情報発信を積極的に行っていただいて、今まで以上に観光の活性化を図れば良いと思います。

【赤間会長】

よろしいですか。今回の地域おこし協力隊は、あくまでも観光振興、観光の情報発信、観光PRこれがメインですから他の方には手が出せない、そういうご理解でよろしいですね。

【松田支所長】

内部で打ち合わせをしている部分では、観光とは小さい分野ではないので、観光という切り口で考えて行った時に、いろいろな分野に関わることもあると思っています。まだ相手方も決まっていない段階なので、方針を固めるつもりはないと考えます。

【辻委員】

前協力隊もそうなのですが、その人達が観光の発信に関わったとして3年後に、どのような形で浜益に定住できるかという道筋は、決まっていないのですか。

【松田支所長】

この辺は、誰かが確約できるかというのはなかなか難しいところで、役所で採用しますとか言えればいいのですが、そういう部分というのは現時点では申し上げられないのですが、いま支所のサイドも観光担当の課長がいて、特に道の駅とかも絡まって、観光に力を入れましょうという動きをしているので、そういう様な取り組みの中で、3年後の部分についても、できるだけ定着できるような形で考えていこうというスタンスで行くことかなと、思っております。

【徳地委員】

観光で入るのなら、自分でやりたいことが見つからなかったら観光協会に入るとか、そういう形ではないのですか。

【三上委員】

将来的にはそういう方面も視野に入れて、検討して行きたいと思っております。

【松田支所長】

昨年、色々と議論があったと伺っております。

過疎地域、ここに限らず全国どこでもそうですけれども、いろいろな部分で条件に合えば、いろいろな人に来て欲しい、これはニーズとして間違いなくあると思います。その裏返しとしては、受け皿として確固たるものを用意するという事を前提にしまうと、どこの町でもその受け皿をつくり込めないというのも現状だと思います。ただ一方で事務局サイドとお話しても、その辺が人任せで私たち関係無いということでは、3年間ここで頑張ってくれる人達に対して、それだけでは無責任じゃないかという意見も当然あってしかるべきで、その流れが今年の整理になったと思うのですけれども、改めて受け皿ということの大切さというのも肝に銘じながら、3年間取り組んで行けないかと、そのような方向で考えたいと、入り口のところは頑張ってみようかということで、今回、観光協会ともお話をさせてもらったという状況です。

【辻委員】

どこをベースに仕事をするのですか。観光協会の中で仕事をするのですか。

【藤巻主査】

いまのイメージとしては、観光協会の中に入っていたきながら、三上委員が言うようにPRだとか、各イベント業務のお手伝いだとか、皆さんに承認していただければ次回以降、その業務、スケジュール関係につきましても、お示しして行きたいと思っておりますけれども、そのような感じで考えております。

【赤間会長】

3年後をどうこうということはちょっとおいて、新たに導入するということで話を進めていけばいいのかなと思うのですけれど、3年後のことを考えるとここで確定できないということもありますし。

【藤巻主査】

極力、支所長が言われたように、ただ来ていただいてということには…定住定着がそもそもの総務省で示していることでもありますから、極力サポートはして行きたいと思っています。

【赤間会長】

今の事務局の説明でよろしいですか、3年後、そういう形でサポートして行きたいと。

今、新聞を見るとあちこちで地域おこし協力隊を募集しています。話を聞くと結構応募があるらしいのです。今回、新篠津が3名募集して3名来ているはずで。

【小田委員】

募集はいつ頃からですか。

【藤巻主査】

それも含めまして、今日皆さんの了解を得ましたら、次回の協議会にそのスケジュール感、業務の内容ももう少しつめまして、皆さんにお示ししながら協議していただければなと思っております。

【赤間会長】

今日のメインは、いま事務局が説明のとおり、地域おこし協力隊を来年度、ここで導入するかしないかある程度、こう結論を出していただければ、もし導入していきましょとなれば、事務局の方では次回の委員会には色々な募集要項なりスケジュール全部、おそらく出してくると思うのです。今まだ確定していない段階ではそこまでまだ詰めていないものですから。そういう考えでよろしいんですね。

【藤巻主査】

まず募集要項と業務内容を皆さんに精査していただいて、そしてOKとなればこの募集要項も作成していくという2回にわたって、皆さんにお計りして行きたいと思っております。

【白井委員】

観光の方をメインに考えていくのであれば、当然、厚田の道の駅の絡みもあるので、なるべく早く入れてあげたほうが、立ち上がりの時にこう展開を組みやすくなっていくと思うのです。観光を特化した協力隊の募集をかけるのであれば、迅速に行動していただきたいと思います。

【松田支所長】

先程事務局の方でお話したように、今日いただいている意見という部分がまずベースにして、時期も含めて、業務の中身も含めて、一旦持ち帰らせていただければ、次回の段階でその辺も踏まえたたたき台というのを皆さんにお示しして、それをベースに話を進めさせてもらえればと思います。

【赤間会長】

よろしいでしょうか。

ご意見御座いませんでしょうか。

【辻委員】

せつかくの制度ですからそうやって活躍できる場所があれば、積極的に来ていただける方がいれば、制度を活用してやって行きたいと思います。浜益は海も山も川もあるし、しかも温泉もありますからその辺は力を入れて計画していただきたいと思います。

【赤間会長】

よろしいでしょうか。

ここで確認したいのは、今事務局の方から提案がありました地域おこし協力隊については、今の段階では来年度当初から導入するということで、確認してよろしいですね。

ここで確認してから、事務局の方で今日の意見もありますので、それらも踏まえて来月の地域協議会でまたスケジュールから募集要項から色々なことが示されると思いますので、よろしいですね。

【委員多数】

はい

【赤間会長】

地域おこし協力隊制度については導入するということで確認させていただきます。

4 報 告 事 項

【赤間会長】

次に報告事項1)「豊かな高齢社会を生きる地域づくりキックオフフォーラム」の開催について、担当よりご説明をお願いします。

【若狭課長】

「豊かな高齢社会を生きる地域づくりキックオフフォーラム」の開催について、資料に基づきご説明申し上げます。

資料1 「豊かな高齢社会を生きる地域づくりキックオフフォーラム」 (説 明)

【赤間会長】

只今、「豊かな高齢社会を生きる地域づくりキックオフフォーラム」の開催について説明がありましたが、ご質問ご意見等を受けたいと思います。何かございませんか。

【委員多数】

ありません。

5 そ の 他

【赤間会長】

次にその他で委員方から何か御座いましたらお受けしたいと思いますが、何かございますか。

【石川委員】

「豊かな高齢社会を生きる地域づくりキックオフフォーラム」の開催について日程を決めてくるのは分かるのですが、6月18日はまます保育所の運動会、もし1週早ければ浜益小学校運動会、この辺の行事日程を含めて決定に加味して欲しいと思います。

【赤間会長】

今後、調整しながら日程等を決めていただければありがたいということですね。

その辺の検討もよろしくお願いいたします。

事務局の方からその他であればお願いします。

【松田支所長】

この4月に来て、朝市から始まって先日は小学校の田植え、黄金山開きといろいろなところで皆さんともお会いしながら、浜益の良さを実感して過ごしているところですが、その朝市も4月の出前朝市から含めていままで8回、全体で7千人くらい来られているようです。今週の日曜日、28日が今年度の最終日になります。なんどもお越しいただいている部分もあるかと思いますけれども、最終日ということで、また地域で盛り上げる意味でも、ぜひ皆さんに足を運んでいただければと思います。

あわせて6月1日来週の木曜日、適沢のカフェ・ガルがオープンすることになります。先程のフォーラムにもありましたけれども、ある意味、一つの地域の語らいの場として立ち上がったと聞いておりますので、そちらの方も、9月末まで、木、金、土、日、祝日とやりますので、この辺も地域の行政だとかということではなくて、地域の人達の取り組みなので、みんなで我々ももちろんですが、みんなで支えていただければと思います。

先日、石狩北商工会の総会が先週の金曜日にありまして、市長も来て挨拶をしていたのですが、先程、白井委員の話にもありましたように、道の駅というのが来年のゴールデンウィークにオープンするのに目指していくと、今年、会社が出来上がって、6月ぐらいからそこに入るテナントの人達の募集の説明会ですとか、そこで物を売るところの説明会ですとか、そういったところを本格的に動き出していくということを話していました。今日は確定したものがなかったのであくまでも情報提供ですが、そういった部分がこれから流れてきます。この辺に関しては、支所の観光担当の部分を中心に、浜益支所としても一緒になって取り組んでいくという姿勢で臨みたいと思っておりますので、不明な点がありましたらぜひ支所の方にも問い合わせいただきたいし、日程も出来るだけ早くご連絡するようにしますので、ぜひ一人でも多くそういった事業に参画していただけるように、お願いしたいと思います。

最後に交通事故の関係が新聞に出ていました。非常に憂慮すべき状況になっていまして、件数だけの問題じゃありませんけれど、石狩市全体いくと1月から4月までの4ヶ月で昨年31件だったものが、今年はもう52件6割以上増になっている状況になってるようです。この5月に入ってから子供さんが絡む事故というのが市内で4件も起きて、今日の報道にもあるように決して小さくない大きな事故が多発しているということで、石狩市、それから教育委員会、それぞれで非常事態宣言という部分を今日明日に打ち出して、本庁の方では明日、緊急の街頭啓発だとかもやると聞いてございます。

浜益に関しては、昨年今年と幸いなことにそういった事故というのは、件数としてはないのですが、この辺というのはいつ何があるか、個人一人一人の意識で大きく変わるものなので、今一度、まずは私自身からなのですが、身の回りの人達に注意を呼びかけて、少しでも不幸な事故のないように広く皆さんに伝えて、取り組んでいただきたいと思います。

【赤間会長】

今、支所長から色々ご説明ございました。また5月28日朝市の最終日、そして6月1日のカフェ・ガルオープンとなりますので、委員の皆様にはぜひ足を運んでいただければ幸いです。

またいま交通事故等のお話もございました。これは私どもも肝に銘じて、この浜益からそういう事故が無いように、いろいろな面で努めていければと思っておりますので、今後ともよろしくお願いしたいと思います。

他にございませんか。

【小笠原委員】

交通事故の件で、教頭会で情報を持ってきたのでお知らせしますが、今日報道された中学校の方は1年生と2年生の女の子が被害者なのですが、加害者も同じ学校の保護者ということで、一人は重篤、まだ意識が無い状態、非常事態宣言については小学校も中学校も各校で送られてきているので、他の市内の学校みたいに先生方が外に立つというような地域柄ではなく、スクールバスなので基本的にはそれは無いと思うのですが、明日、たまたま本校は交通安全教室が企画されていたので、今日の事故の話もあるでしょうし、これから夏場の海水浴客、観光客が沢山来る時期のセーコーマート前辺りの横断道とか、オートバイも多数来るので、ということは子供たちに話をしたいと思っています。

5月28日に朝市最終日なのですが、浜益中学校開校70周年記念の開催があります。6月5日が開校で70周年になります。PTA役員さん方と話して、特別な記念行事というのは特に予算も無かったので、特別なことはやらないのですが、学校祭、体育祭に冠をつけることと、昔の写真、浜益高校時代の写真などなど6月から展示して行こうと思っておりますので、卒業された方は足を運んでいただきたいと思います。

勤務時間内であれば、案内させていただきますのでぜひおいでください。

【藤巻主査】

お手元の方に、前回の協議会以降、本日までの新聞記事を皆さんに配布しておりますので、ご家庭にお戻りになってからご覧頂ければと思います。

6 次回開催日程について

【赤間会長】

次に次回開催日程について、事務局から提案願います。

【藤巻主査】

次回開催につきましては6月第4週を予定しております。

会長と協議させていただいてから、近くになりましたらご連絡いたしますので予定しておいてください。

【赤間会長】

只今、事務局から提案がありましたとおり、次回開催につきましては、決定後、事務局よりそれぞれご連絡いたしますので、よろしくお願いしたいと思います。

6 閉 会

【赤間会長】

以上をもちまして平成29年度第2回浜益区地域協議会を閉会いたします。ご苦勞様でした。

平成29年6月22日議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会 長 赤 間 聖 司